

戦略3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり

計画期間 令和元年度～令和5年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 企画政策部・経済部

基本的方向

- 家庭や学校、職域、地域などで、生涯を通して積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。
- 生活習慣病の重症化予防や食育活動、生涯学習の推進、運動習慣の定着など、幼年期から高齢期まで健康に根ざした取組を支援します。
- 進んで健康的な生活習慣を実践する健やかで活力に満ちた市民の増加をめざします。
- 江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向けた取組を推進します。

戦略を構成する具体的施策の事業費推移

名 称	決算額									
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
(1) 健康増進活動の推進	23,936	千円	27,804	千円		千円		千円		千円
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	139,328	千円	119,184	千円		千円		千円		千円
計	163,264	千円	146,988	千円		千円		千円		千円

戦略実現に向けての数値目標

◆数値目標（1） 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合（単位：％）

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
86.6	85.2	88.1				90.0

◆数値目標（2） 過去1年間に健康診査を受けた市民割合（単位：％）

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
66.7	66.0	63.5				70.0

◆数値目標【基盤】 日頃の生活の中で地域の人との交流がある人の割合（高齢期）（単位：％）

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
48.8	41.9	28.9				55.0

◆数値目標【推進機能】 江別市の情報発信力が高いと思う市民割合（健康に関する情報）（単位：％）

現状値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目 標
45.4	51.5	48.8				50.0

具体的施策（１） 健康増進活動の推進

健康寿命を延ばし、だれもが健康で安心して暮らせるまちをめざして、市民が家庭、学校、職域、地域などで、生涯を通して、積極的に健康づくりや健康増進のための活動を実践、継続できるよう推進します。

◆重要業績評価指標（KPI） 健康づくり事業への参加者（単位：人）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
9,927	9,851	2,867				10,000

■成果動向（令和２年度の評価）

・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等の影響で中止となった事業が多く、また、感染対策に配慮して、予約制や、定員の削減を行ったこともあり、事業参加者数は例年の３割程度になりました。健康づくり、健康教育事業は、不特定多数の市民を対象に、講話や試食、測定など、接触を伴う手法で実施するものが多かったことから、評価指標の数値を維持または向上することは難しい状況にあります。

・江別版「生涯活躍のまち」構想の実現に向け、ワークショップを活用した地域交流に関するアイデアの掘り起こしを行うとともに、開設準備室を拠点としたコーディネーターなどによる事業のPRを図りました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性）

・感染対策を講じながら実施できる事業は再開しましたが、従来のように不特定多数の市民を対象にした事業は当面難しいことから、オンラインなど、新たな手法も取り入れて、健康意識の向上が図れるよう工夫しながら事業を実施します。

・拠点地域の「コルクえべつ」がオープンすることから、拠点地域を中心に、就労や社会活動、住まい、介護などが一体的かつ継続的に提供されるよう、事業者や大学など様々な主体と連携していきます。

<課題>

○子ども期から正しい生活習慣を身に付ける
 ○自らの健康について関心を持つ市民の増加
 ○運動などの健康づくりに取り組む市民の増加
 ○健康経営の認知度向上と具体的な取組内容の周知
 ○生涯活躍のまちの認知度向上と生涯活躍のまち形成事業計画の推進

<取組の概要>

・保健師や看護師等による小学校での「喫煙予防教室」や、中学校での「生活習慣病予防教室」を開催
 ・E-リズムの普及啓発と市民への定着化を図る
 ・地域健康づくり推進員や食生活改善推進員、健康づくりサポーターと連携協力し、地域の健康づくり活動を推進
 ・健康経営に関するセミナーなど普及啓発活動の推進
 ・拠点地域「コルクえべつ」の市民周知と来訪者増に向けた取組の推進

事務事業	成果指標	令和元年度	令和２年度	令和３年度	備考
健康づくり推進事業	参加者数	6,453 人	1,269 人	人	左記事業費は、健康相談経費を含む
	補助事業参加者数	1,086 人	393 人	人	
	事業費	6,396 千円	5,403 千円	千円	
健康教育事業	健康教育事業参加者数	3,398 人	1,598 人	人	
	事業費	951 千円	249 千円	千円	
総合特区推進事業	健康企業・健康事業所宣言等の認定数	28 社	33 社	社	
	事業費	13,412 千円	10,523 千円	千円	
生涯活躍のまち整備事業	拠点地域内施設の利用者等の数	0 人	0 人	人	
	事業費	3,177 千円	11,629 千円	千円	

具体的施策（２） 疾病予防・重症化予防の促進

食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診の推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化の予防に努めます。

◆重要業績評価指標（KPI） 過去１年間にがん検診を受けた市民割合（単位：％）

現状値	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	目標
39.8	37.0	32.1				45.0

■成果動向（令和２年度の評価）

- ・メイン事業である健康フェスタは、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止としました。
- ・健康のため心がけていることがある市民割合が８割を超え、増加傾向にあることは、市民の健康に対する意識の高さを表していると考えています。
- ・がん検診等について、市民が健診を受けやすいよう休日での集団検診の実施や、託児つき検診に加え、WEBによる予約を実施しました。また、電話による受診勧奨も行いました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により年度当初から６月までの集団検診を中止したことなどにより、現状値よりも受診者は減少しました。
- ・介護予防事業についても、新型コロナウイルス感染症により、受講人数が大きく減少しました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性）

- ・野菜摂取については、摂取が不足している若い世代や子育て世代を対象に啓発に努めていきます。なお、メイン事業である健康フェスタは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年度に引き続き、令和３年度も中止としました。
- ・がん検診等の必要性を広報等で周知することに加え、電話による受診勧奨を引き続き実施することで一層の受診者数の増加に努めていきます。

<課題>

- 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- がん検診受診率の向上
- 運動や社会参加による介護予防の推進
- 食生活の改善に取り組む市民の増加
- 市民に不足している野菜摂取量の増加

<取組の概要>

- ・節目年齢受診無料等のインセンティブの提供や、電話・訪問等による受診勧奨を実施
- ・検（健）診申込窓口の一元化、WEB予約の導入による受診しやすい環境の整備
- ・生活習慣病予防に効果のある野菜摂取推進の取組を実施
- ・住民が主体的に集まる通いの場を活用した介護予防・疾病予防講話の実施

事務事業	成果指標	令和元年度	令和２年度	令和３年度	備考
健康都市推進事業	健康のため心がけていることがある市民割合	85.2 %	88.1 %	%	
	事業費	2,654 千円	529 千円	千円	
成人検診推進事業	がん検診平均受診率	14.1 %	11.2 %	%	
	事業費	71,951 千円	57,490 千円	千円	
特定健康診査等事業【国保特会】	特定健診受診率	25.7 %	24.1 %	%	
	特定保健指導利用率	33.5 %	28.9 %	%	
	事業費	60,937 千円	57,905 千円	千円	
一般介護予防事業【介護特会】	介護予防出前講話の受講人数	1,038 人	122 人	人	
	通いの場等での専門職講話の受講人数	523 人	0 人	人	
	事業費	3,786 千円	3,260 千円	千円	